

東京のポイ捨てが、 太平洋の 海ごみになっている。

街で発生したごみが、雨や風に流されて河川や水路等に入り込み、
やがて海まで流れ出て「海ごみ」となっています。

海ごみ対策はじめませんか。



1

「海の魚3トンに対して、ごみが1トン」!?

～知っていますか? 海のごみ

- いま世界の海で、私たちの暮らしなどから海に流れ出るごみ(海ごみ※1)が、大きな問題になっています。
- 2016年1月の世界経済フォーラム(ダボス会議)でも、
「毎年800万トン以上のプラスチックのごみが海に流出しており、このままなら、
2025年には海の魚3トンに対しプラスチックごみが1トンに、2050年にはプラスチックごみが上回る。」
というレポート※2が発表されました。



漂流ごみの例 提供: Race for Water / Christophe Launay



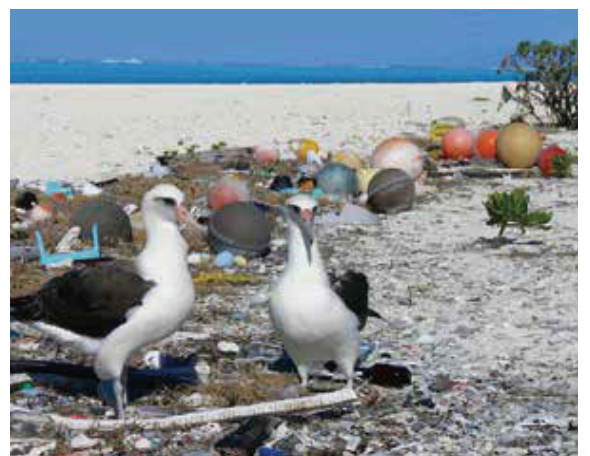
漂着ごみの例(伊豆諸島にて) 撮影: 東京都環境局

- ※1 海面や海中を漂っている「漂流ごみ」、海底に沈んでいる「海底ごみ」、
海岸に流れ着いたり捨てられたりしている「漂着ごみ(海岸ごみ)」を総称して「海ごみ」と呼んでいます。
- ※2 世界経済フォーラム 2016「The New Plastics Economy」

2

ハワイのごみも東京生まれ?

- 日本海側などの一部の地域では、
中国や韓国などから流れ着くごみも多くありますが、
その一方で、東京の街から東京湾へ流れ出たごみも、
海流に乗ることで、北太平洋に流れ出ていきます。
- 海ごみに含まれる使い捨てライターから流出元を
推定した研究※1では、遠いアメリカ西海岸や、
ハワイ諸島、ミッドウェー環礁等の北太平洋の島々へ
漂着したごみや海鳥の胃袋などからも、
日本起源の使い捨てライターが回収されています。
その中には東京からのごみ※2も含まれていました。

漂着した海ごみの中で営巣する絶滅危惧種・コアホウドリ
(北西ハワイ諸島ミッドウェー環礁にて) 提供: 特定非営利活動法人OWS

- ※1 藤枝繁・大倉よし子・小島あすさ(2015), 「漂着ディスプレイライターを指標とした北太平洋島嶼
および北米海岸に漂着する海洋ごみの流出地推定」, 『漂着物学会誌』13, p.35-44, 漂着物学会
- ※2 東京都内の店舗名が印字されたライター

3

「海ごみ」の多くは「生活系ごみ」

- ではそんな「海ごみ」はどこから来るのでしょうか。
- 日本の海岸に漂着しているごみを見てみると、「レジ袋等のポリ袋」や「ペットボトル」など、私たちの生活の中から発生している「生活系のごみ」が約半分を占めていることがわかりました※1。
- 東京湾内でも、「レジ袋等のポリ袋」「ペットボトル」「飲料缶」「発泡スチロール」「電気製品」など※2の生活系のごみが回収されています。
- 街なかにポイ捨てされたごみも、雨や風に流され、河川や水路等に入り込むと、やがて海まで流れ出て、海ごみとなっていくのです。
- さらにこの海ごみの大半はプラスチックです。プラスチックは自然にはほとんど分解されず、環境中に長い時間残留します。
- また最近特に心配されているのが、プラスチックが紫外線や波の力により細かく砕けたかけら「マイクロプラスチック」。5mm以下になった、プランクトンより小さいかけらが、食物連鎖に入り込み、海の生態系全体に大きな悪影響を与えることが懸念されています。



コアホウドリの雛3羽の体内から見つかったプラスチックごみ
(北西ハワイ諸島ミッドウェー環礁にて) 提供：一般社団法人JEAN



アオウミガメが上陸する砂浜にも、大量の海ごみが漂着している
(北西ハワイ諸島ミッドウェー環礁にて) 提供：特定非営利活動法人OWS

※1 環境省作成パンフレット「漂着ごみについて考える。私たちの海を守るには？」

※2 国総研研究報告 No.53 「河川から東京湾へ流入する漂流ゴミ量の逆推定」(平成25年6月)

マイクロプラスチックとは…

- 大きさが5mm以下の微細なプラスチックのことです。
(国連の海洋汚染の専門家会議 (GESAMP) の定義)
- ペットボトル、食品トレー、洗剤などの使用済容器、レジ袋などが紫外線や波の力で壊れて細かくなったものをいいます。洗顔料などの「スクラブ剤」にも、マイクロビーズと呼ばれるマイクロプラスチックが使われている場合があります。
- 東京都が東京湾内(京浜運河)で行った調査でもマイクロプラスチックが漂着していることが確認されています。



太平洋で採取されたマイクロプラスチック
提供：東京農工大学 高田秀重教授

4

「身近な取組」をはじめることから、「海ごみ」は減らせる。

世界の海で問題になっている海ごみは、身近な取組の積み重ねで減らしていくことができます。まずはできるところから。あなたも海ごみ対策をはじめませんか。

- 「使い捨て」の生活習慣を見直し、日々の生活から出るごみを減らしましょう。
 - マイボトルやマイバッグなど繰り返し使用できるものを選び、利用しましょう。
- 屋外で出したごみは必ず持ち帰って処分しましょう。
 - ごみのポイ捨ては法令で禁止されています。
 - 海や川、山でのレジャーで出たごみを持ち帰りましょう。
 - ごみは、地域のルールを守り、所定の場所・時間に、分別して出しましょう。
- 海ごみについて学び、街なかや河川敷・海岸などでの清掃活動にも参加してみましょう。

5

海ごみに関する環境学習教材

- 「東京&ニューヨークの小学生からのメッセージ 海ごみを減らすために私たちができること」
 - 東京とニューヨークの小学生とともに、海ごみについて学ぶショートムービー



「予告編(40秒)」 <https://youtu.be/XDAGRKUEBTg>
 「本編(30分)」 <https://youtu.be/XAp35bK3F7k>

※参考情報(ホームページ)

- ・ 環境省 漂流・漂着ごみ対策 http://www.env.go.jp/water/marine_litter/
- ・ 海ごみプラットフォーム・JAPAN(運営:一般社団法人JEAN) <https://www.facebook.com/malipjapan/>
- ・ 特定非営利活動法人荒川クリーンエイド・フォーラム <http://www.cleanaid.jp>
- ・ 特定非営利活動法人グリーンバード <http://www.greenbird.jp>

東京都環境局資源循環推進部一般廃棄物対策課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

東京都 海ごみ対策 で 検索

TEL 03(5388)3581

平成31年度
登録第44号

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

R70
古紙配合率70%の再生紙を使用しています。



東京都環境局

令和元年9月